

# Chromebook を活用した情報収集・整理と客観的な振り返りによるプレゼンテーション練習 (NEW HORIZON English Course 2 Unit2 Food Travels around the World)

- ①話・発
- ②個・表
- ②協・整
- ③タブ
- ④Google Jamboard

## 【ここがポイント！】

### ①「Google Jamboard を活用した情報収集、内容の整理」

Google Jamboard で設定したテーマについて、発表しようと思う内容を貼り付けたり、友達のテーマについて知りたい内容などを貼り付けたりすることで、聞き手を意識した構成を考えることができる。また、貼り付けられた英文文を学級で添削することができる。より正確でわかりやすい英文を完成させることができる。

### ②「動画撮影の活用」

料理の歴史についての発表をペアで撮影した後に、単語の発音や表現の方法について動画を再生して繰り返し確認する。互いに発表を撮影し合い、何度も練習して、最も良い動画を提出し、指導者はそれを評価する。

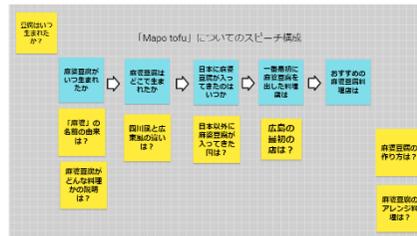
## 【実践の目標】

ある料理について、自分が伝えたい内容を相手が正しく受け取れるように、語彙や表現を工夫して伝えることができる。

## 【実際の場面】

### 1. Jamboard で発表内容の整理を行う

自分が紹介したい料理について、何を話すのかを決め、その内容を貼り付けさせた。その際、生徒が互いに知りたい内容を貼り付けることができるよう、各自の編集シートをいつでも見ることができるようにした。このような工夫により、他者が興味をもつような内容になるよう整理させ、発表の構成を考えさせた。



### 2. 英文を作成する

Jamboard で内容を精選させた後、発表で必要となる語彙やキーワードを貼り付けさせた。

その後、Jamboard の構想を基に Google スライドで発表原稿を作り、互いに添削させることで翻訳機能を可能な限り使用せず、既習内容を活用した英文となることをねらった。

### 3. 発表の練習をする

Chromebook を使って、発表練習を各自行った。続いて、各ペアで互いに練習を行い、アドバイス等を交流し合った。その後、撮影を複数回繰り返し、何度も見直して工夫改善に取り組んだ。

### 4. 単元課題の評価に使う動画を選ぶ

撮影した動画の中から、ループリック評価に基づき、各自で最も良いと思う動画を選択させ、指導者に送信させた。

### 5. 全体場でプレゼンテーションを行う

練習した発表を全体場で披露した。互いに関わり合いながら作成した内容なので、英語であっても理解しやすく、意欲的に発表を聞くことができる。その聞き手の姿勢が発表者にポジティブに影響し、パフォーマンスが向上することをねらった。

## 【成果と課題】

### 【成果】

- ICTを活用することで、時間の効率化を図り、互いに意見を交流させることが容易になったことで「学び合い」が進み、言語活動の充実につながった。
- 互いに添削やアドバイスをしやすくなったことで、翻訳機能に頼りきりだった生徒も既習内容を使って発表することができた。
- 録画機能を使うことで自分のパフォーマンスを客観的に評価することが可能となり、主体的に改善に向けて取り組むことができた。

### 【課題】

- 操作に慣れていない生徒にとっては活動内容が理解しにくく、困り感を持つ生徒もいた。
- 一連の学習活動にかなり時間がかかるため、簡素化が必要である。

